

夏の企画展
「GO！GO！特急列車 出発進行～！」の開催について

- 新幹線とともに高い人気を誇る在来線の特急列車(電車特急)について、その歴史を概括するとともに、首都圏各線や各私鉄の有料特急、そして最新形の特急車両を紹介する企画展です。
- 特に、中央本線の特急「あずさ」に投入が予定される最新型の特急車両・E353系、50年にわたって活躍し本年引退した583系を紹介するコーナーを設けます。
- 手回し発電機によるNゲージ模型列車の運転などの体験を通じて、お子さまにも電車特急を楽しく、身近に感じていただけます。

■ 会 期 2017年7月8日(土)～9月24日(日)

■ 会 場 鉄道博物館2F スペシャルギャラリー1

■ 入 場 料 鉄道博物館の入館料のみで、企画展もご覧いただけます。
※ 鉄道博物館の入館料は、一般1,000円、小中高生500円、
幼児(3歳以上未就学児)200円です。

■ 主 催 鉄道博物館

■ 協 力 東日本旅客鉄道株式会社

■ 協 賛 富士フィルム株式会社

■ 主な内容 別紙



E353系電車



583系電車

■主な展示内容

1 電車特急のあゆみ

1958(昭和33)年に運転を開始した「こだま」以来の、約60年の及ぶ電車特急のあゆみについて、写真や模型、資料などからたどります。なかでも、本年4月に50年にわたる活躍に終止符を打った583系電車についてコーナーを設け、動画や写真で紹介します



電車特急の時代を切り開いた151系「こだま」



夜は寝台特急として、昼は寝台を座席に転換し昼行特急として走り続けた583系

2 首都圏の電車特急大集合

首都圏の電車特急について、東海道本線、中央本線、高崎線、東北本線、常磐線、房総・空港アクセス特急と、各方面ごとに紹介します。



E351系「スーパーあずさ」



E259系「成田エクスプレス」



E657系「ひたち」「ときわ」



251系「スーパービュー踊り子」

3 最新形特急車両 E353系

中央本線に投入が予定されている最新形の特急車両 E353 系について、その特徴や魅力的な外観・内装について写真や動画で紹介します。



E353 系の車内
上：グリーン車
右：普通車

4 私鉄の特急列車

首都圏では J R だけでなく、東武鉄道、小田急電鉄、京成電鉄、西武鉄道など各社が専用車両を使用した有料の特急列車を走らせています。個性豊かな各社の有料特急のあゆみや車両について解説します



東武鉄道 500 系「リバティ」



小田急電鉄 60000 形 MSE 車



西武鉄道 10000 系「レッドアロークラシック」



京成電鉄 AE 形「スカイライナー」

5 体験コーナー

手回し発電機を用いた N ゲージ模型を運転するコーナーを設け、中央本線の特急「あずさ」について、模型を走らせることで、50 年前の運転開始時と現在の表定速度の違いを体感していただきます。この他にもお子さま向けの電車特急塗り絵体験コーナーなどを設けます。



手回し発電機